

職工側、指揮者ニ会見シ、会社側ハ依然トシテ債銀(手
道)値上ニ昇シテ八讓歩、余地ナシトノコトニテ之ハ
職工側、主張ト余リ、懸障ト云フヘタ調停頻ル固
難ナルカ何ト力方法ナキヤレト暗ニ其腹ヲ探リタル
ニ曲尾ハ、職工側トシテ到底考慮、余地ナキ又)
ニテ且ツ調停者、手ヲ煩ズセ徒勞ナル一キニヨリ今後
ハ職工側直接ニ交渉スレント告ケ調停者元茲ニ一
先手ヲ引クコト、ナリタレ

又全般合会、手ノ依リ分縫セシメタル固力女工約
一八〇名ハ各所定ノ個所ノ分縫セルカ其固的、奈
良ニ在ルヌリ知ラズ惟夕其指揮者、言ヲ力供
従フト云フニ過セサルヌノ多キシ从テ之等、者ハ無聊
也、シテ松原標様ナリ而シテ会社側ハ曩ニ女工
脱出スルニ保護、責任上直ニ其御屋ノ左兄ニ
完其者隠蔽シ甚シタルニ付父兄ニシテ之ヲ氣遣
ヒ上級凡者既ニ數名リ見ル至レリ

附記、工側ハ本争議勃發ト同時ニ之ト全シテ叢ニ復
銀値下ヲ爲セル天満織物会社城並工場ニ元争議
ヲ起サムト企測セルコトハ既報、處大阪紡織(労働組
合)藤原知雄、近田与一郎、伴藤幸一、總同盟首領
野武士組笠島末吉及中川秀松(時八日午後四時
三十分(職工退場時刻)全工場附近ニ徘徊セルニ付所
轄今、福澤察署ニ於テ八職工ヲ捕、勤エル慶アル
久ノトニ直ニ之ヲ檢束セリ又全般合会ニ於テ八月
淨糞職工對シ尤記金呂寄贈アリタル旨(時八日之
弓菱表文)

龙記

一、白米拾表、鮮魚百尾

大政清光社婦人團、
日本勞働總同盟大政聯合會

一、金五拾圓

迄于本月八日有時事新報第六五六八號所載「女工